

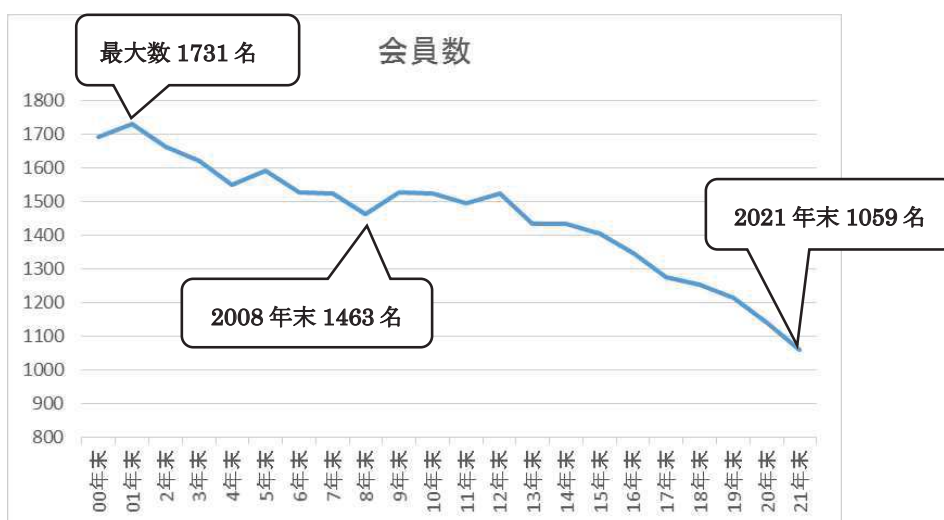
楽しいと言われるような会作りを！

組織部 浜田

＜大阪労山の組織数の推移と特徴＞

大阪労山の会員数は、創立時（1967年）は約600名の会員数から右肩上がりが増えて2001年に1731名（最多会員数）となりました。その後、セミナーの関係から新規加盟の会がありますが、会員数の減少はとまりませんでした。2008年に60名の会員減少があったため2009年に「大阪労山アタックプラン」を会と連盟で取り組み81名の会員増を達成することが出来ました。その後、再び減少傾向になり2021年末の組織数については会員増7名、会員減82名、脱退6名現在1059名となっています。

新型コロナの影響で会山行が実施出来なくなったり、一般参加者への公開山行や登山教室が中止に、会員の高齢化による体調不良や介護等のため退会する会員の増加で会員数が2020年、2021年と約80名の会員減少になっています。2022年末も大幅な会員減少が予想される状況です。創立時の楽しかった会を思い出し、会員・一般参加者が「楽しいと言われる会」を目標に取り組んでほしいと思います。



＜連盟・各会で会員拡大を取り組みましょう＞

- 連盟
 - ・連盟全体として各部の連携をすすめた組織拡大を考える。
 - ・仲間意識が昔より希薄になっている。（大阪労山交流会の実施を計画）
- 各会
 - ・入って見たいと思えるHPやSNSなどの開設と更新（月に1回以上）
 - ・入会者へのフォローアップ（連盟の教育・登山学校・セミナーの利用も）
 - ・一般登山愛好家に楽しいと言われるような公開山行を取り組む
 - ・会員が年齢に関係なく参加できる取り組みを考える。（健康・趣味等）
 - ・会員が楽しめる計画を会として取り組む。（目標の山やルート計画）